

製品名: WTAP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81474**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	44.2kDa

抗原情報

遺伝子名	WTAP
別名	PNAS-132;hFL(2)D;KIAA0105
遺伝子 ID	9589.0
SwissProt ID	Q15007
免疫原	大腸菌で発現したヒト WTAP (AA: 91-201) の精製された組み換え断片。

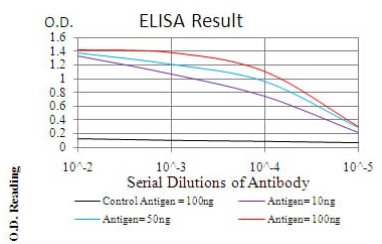
背景

ウィルムス腫瘍抑制遺伝子 WT1 は、特定の細胞遺伝子の転写および転写後制御の両方に関与していると考えられています。この遺伝子は、普遍的に発現する核タンパク質である WT1 関連タンパク質をコードしています。WT1 タンパク質と同様に、このタンパク質

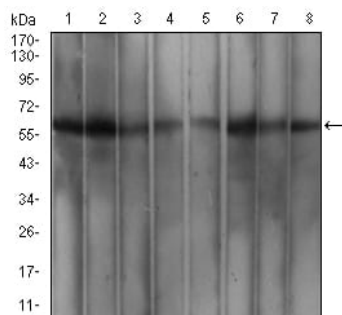
は核質全体およびスペckルに局在し、部分的にスプライシング因子と共局在します。この遺伝子の選択的スプライシングにより、3つの異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じます。

研究分野

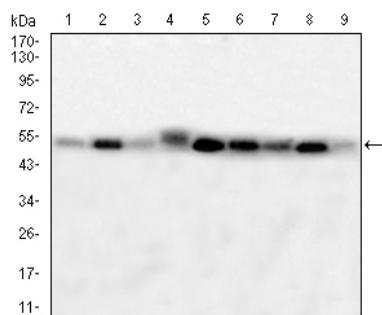
画像データ



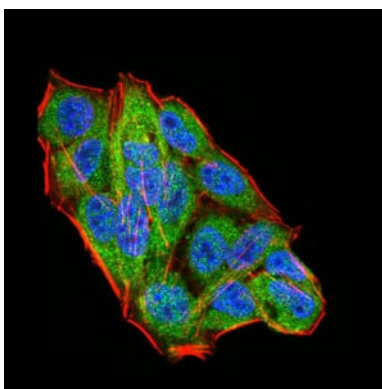
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



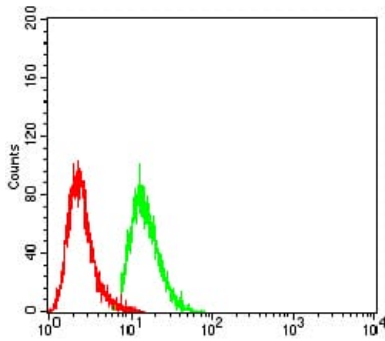
MCF-7 (1)、HeLa (2)、K562 (3)、Hek293 (4)、A549 (5)、HepG2 (6)、Jurkat (7)、および Cos7 (8)細胞溶解物に対する WTAP マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



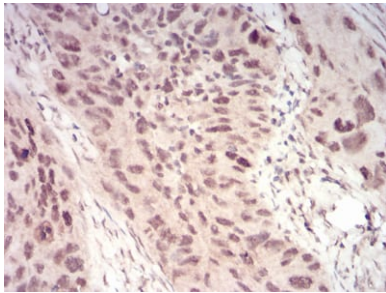
PC-12(1)NIH/3T3(2)NRK(3)C2C12(4)C6(5)L1210(6)F9(7)COS7(8)CHO3D10(9)細胞溶解物に対する WTAP マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



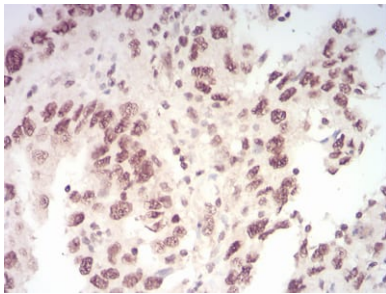
WTAP マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



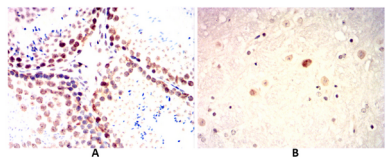
WTAP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A549 細胞のフローサイトメトリー分析。



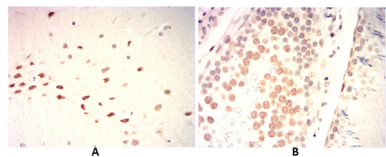
WTAP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



WTAP マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮内膜癌組織の免疫組織化学分析。



WTAP マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋マウス精巣 (A) マウス小脳 (B) の免疫組織化学分析。



WTAP マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ラット脳 (A) とラット精巣 (B) の免疫組織化学分析。